

木の岡ビオトープ

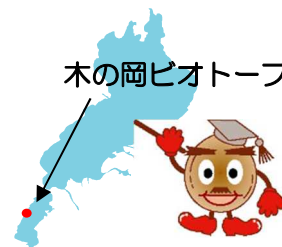
おにぐるみ通信

ニュースレター
第17号
(R6.1.22)

おにぐるみの学校では、木の岡地区に残された貴重なビオトープを子たちたちに残していくために、このビオトープを守る活動を行っています。

このニュースレターは、「木の岡ビオトープ」や、「おにぐるみの学校の活動」をより多くの人に知っていただくために、定期的に発行するものです。

木の岡ビオトープ



春の自然観察会(R5年3月21日)

◆植物の芽に 春の息吹を感じました！

ビオトープの中はいたる所に植物の芽出ていて、春の息吹を感じます。ルーペを使って観察するとこの時期にしかない植物の姿を見ることができました。自然教室では、草木染の巾着袋作りに挑戦しました。ビー玉や輪ゴムを使って布を絞り、マリーゴールドから抽出した染料で染めると、様々な模様の素敵なオリジナル巾着袋が出来上がりました。最後は、当日朝にビオトープで摘んだ、野草の天ぷらを持ち帰りしました。



下阪本小学校の自然観察会(R5年5月31日)

◆身近なところに豊かな自然があるんだ！ ♡お礼の手紙をいただきました♡

スタッフの案内で木の岡ビオトープ内を散策しフィールドビンゴをしました。たくさんの若竹を胸に抱え、とても嬉しそうに戻ってくる姿が見られました。また土の中の生き物観察では、生き物が目の前のシートに広げられると、大興奮で覗き込み触っていました。友達の様子に、虫の苦手な子どもも近寄りたり恐る恐る手を伸ばしたりして、興味を持つことができたようです。身近なところに豊かな自然があることを知り、生き物と仲よくすることができました。



春の自然観察会は（一社）近畿建設協会の支援を受けて実施しています。

夏の自然観察会(R5年7月27日)



◆昆虫をつかまえました！ 竹の水鉄砲を作りました！

子どもたちは虫取り網を手に生き物を飽きることなく追いかけて、大人では気づかない生き物を見つけました。講師に名前を覚えてもらうのは観察会ならではの楽しみです。ヨッシーの自然教室では、青々とした竹で水鉄砲を作り、遠くに水を飛ばしたり、水を掛け合ったりして歓声を上げていました。その後、野草の天ぷらを持ち帰りました。残された自然の中で夏を満喫する一日となりました。



水鳥の観察会(R5年12月3日)

◆水鳥どこにいるかな？ クルミン・もっくん できました！

水鳥のカムリカイツブリ・ホシハジロ・キンクロハジロなどが観察できました。講師の話聞きながら望遠鏡や双眼鏡を覗いて「見える、見える」と笑顔でした。自然観察会では、クルミや小枝を使ったクラフトづくりをしました。目玉の取り付けに、個性が出ます。クルミにねじを取り付けるのは、殻の固さゆえに難しくもあり楽しくもありでした。その後、野草の天ぷらを持ち帰りました。



野草の天ぷら

おにぐるみの学校について

◆一緒に木の岡ビオトープを守りませんか？◆

おにぐるみの学校では、木の岡ビオトープにおいて、自然観察会の開催や除草・清掃などの活動を行っています。

木の岡ビオトープの保全・利用に向けたこれらの活動に理解・賛同し、活動に参加もしくは支援して下さる方の募集を行っています。

みなさんで木の岡ビオトープの現状を理解し、地域に親しまれ、愛される場所としていくための活動に取り組んでみませんか？みなさんの参加をお待ちしております

発行者 おにぐるみの学校事務局

(滋賀県土木交通部 流域政策局 河川・港湾室 河川環境係)

TEL:077-528-4154 FAX:077-528-4904 E-mail: ha04@pref.shiga.lg.jp

URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/19181.html>



★◇★ 春、夏、水鳥の観察会は一か月前くらいに、参加者募集を始めます。★



令和5年の活動は「こくみん共済coop 地域貢献助成」の助成を受けて実施しています。